

目指す学校像「一人一人が輝く、楽しい河辺小学校」～「向上心」とその基盤となる「自己肯定感」を育む～

<学校経営方針の重点>

1 学力向上と主体的な学びの推進

2 豊かな心の育成

3 特色ある教育活動の充実

4 家庭・地域との連携

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善案	学校関係者評価		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
学力の向上と主体的な学びの推進	各教科の「楽しい授業」の追求	学習環境の整備・活用	「学ぶ楽しさ」を味わわせる授業の実現 (河辺小授業スタイルの共通実践、質の高い授業の共通理解、校内研究の活性化、年間継続型授業観察)						
			基礎的・基本的な学力の定着 (「はい・立つ・です」等授業規律の共通実践、CDTテストの実施、河辺ドリル・ステップアップ等の取組、家庭学習の習慣化の方策)						
			学習環境の整備・活用 (一人1端末を中心としたICT機器「1日1活動」の実施、ICT教育推進校の取組、人的環境整備活用、校内整備)						
豊かな心の育成	「自他尊重の精神」の涵養	信頼関係の構築	信頼関係の構築 (児童理解一人1取組、教員の人権感覚の向上、道徳授業の充実、教師の「率先垂範」や適切な言動、適時的な指導)						
			人権教育推進・規範意識育成 (「ハートフル河辺小プラン」の活動推進、生活指導の充実、いじめを許さない指導・未然防止・早期発見・早期対応、「河辺しぐさ」の指導)						
			主体性の伸長 (特別活動の充実、学校行事の充実「～で育てる」)※特別活動(クラブ活動、委員会活動、学級活動、縦割り班活動等)						
特色ある教育活動の充実	特色をある取組への深化	体育・健康に関する指導の充実	体育・健康に関する指導の充実 (体育指導や体育的活動の充実、アスリート教室の実施)※体育的活動＝縄跳び、マラソン大会等※アスリート教室＝オリパラレガシー						
			青梅学の推進 (地域の自然や環境、歴史や文化財等の教材化、御岳・日光移動教室等校外学習の充実、愛鳥モデル校、動物飼育推進校の取組)						
			個に応じた指導の充実 (「ことばときこえの教室」と通常学級の連携、連携型個別指導計画の作成・活用、特別支援委員会を核とした組織的な対応)						
家庭・地域との連携	適切な情報発信による信頼関係の構築	学校からの情報発信の充実	学校からの情報発信 (家庭や保護者への適時かつ適切な情報発信)※学校便り、学年だより、ホームページ、配布プリント、メール配信						
			丁寧かつ組織的対応の徹底 (保護者等からの相談等への迅速な対応、必要に応じ学年・生活指導部・特別支援委員会・管理職と組織的に対応、個人面談の充実)						
			教育活動を通じた連携強化 (学校行事の充実、学校公開や保護者会の工夫、学校評価・アンケートとの活用、地域行事等への参加)						

※評価について A:よくできた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった